

自然循環型農業を目指して

～昔の稲作から学び、利点を生かす～

〈プロフィール〉

1979年広島県佐伯郡生まれ。
父の転勤に伴い、防府市で育つ。
20代～30代にかけて、公的機関（福祉）に勤務する。
平成28年より、無農薬でお米やお茶を作る為、山口市山間部の徳地に移住。
兼業の夫と2男1女の子どもの5人暮らし。

〈農業を始めた経緯〉

子どもが幼い頃、食育として、市内の市民農園を借り、家庭菜園をしていた。
それがきっかけで、四季を通して、多品目の野菜を作る楽しさを感じ、より安心な作物を、子供に食べさせたいとの思いを持った。
私自身は、20代から30代前半にかけて、仕事と育児の両立で、大きく体調を崩したことから、食の大切さをより一層痛感する。
また、子どもと向き合っ生活ができる仕事をしたいとの思いを強くする。
この頃、農大の新規就農支援塾を受講する機会を受け、農家を目指すことを決意する。
また、研修時に、農家の仕事を現場実習したことで、より農業のビジョンが具体的になる。
研修後、農業ができる自然環境豊かな場所を求め、徳地にあった、農地付きの古民家へ、家族で移住する。

〈今後追及したいこと〉

- ① 可能な限り経費を削減し、利益の出る農業について、模索していきたい。
- ② なるべく自然環境を破壊せず、自分自身も、自然に溶け込むように生活を

する。

- ③ 身の回りのものを循環させる（サイクルを作る）。
- ④ 古い物、今手元にある物を生かす。
- ⑤ シンプルな暮らしをする。
- ⑥ 次代を生きる人に豊かな自然環境を残したい。
- ⑦ 田園風景・稲作文化の継承に力を注ぐ。

〈経歴〉

防府市社会福祉事業団

山口県社会福祉事業団

平成27年農業担い手研修を受け、米農家にて現地担い手研修を受ける

平成28年より、山口市徳地において、循環型農業をしている

令和2年より、耕作放棄茶畑の活用を始める

山口県山口市徳地八坂 431

はじまりの月農園

代表 阿部 果奈子

0835-56-0917 (fax 兼)

090-2802-2936 (携帯)

～平成30年 初めての水稻栽培開始～

No.1

冬の間、全ての田んぼに、田作り、イリコやその他の海産物をまき、土作りをしました。



トラクターで耕す



萩のイリコ問屋から仕入れたイリコ



上質なイリコ



田にイリコをまく作業

No.2

自分で、土や肥料等、手作りをして、経費を抑え、自家製苗を作り、田んぼに植えました。



種もみの塩選



手まきによる種まき



自家製のもみ殻燻炭を苗床に



いよいよ田植え



人力除草機を押し草取り

No.3

除草剤を使わない代わりに、糠を水で練り、糠団子を作り、草を押さえる為に田んぼにまきました。また、昔の人力除草機を押して、草を取ります。



糠団子を手作り



糠団子を田にまく



風になびく苗



人力除草機

No.4

昔ながらの米作りを真似て、
～田作りで豊作を祈りながら～

現代の田作りとは違う非効率な作り方ですが、
安全と美味しさを目標に、お米を作っています。
もうじき収穫できます。



田の中のヒエ取り



穂が色づくのは間近